●復刻の辞――一九九九年八月、警察大学校の旧蔵資料が国立公文書館に移管公開された。その中には、内務省警保局の刊行物が多数含まれ、弊社が一〇年以上前に復刻刊行した『外事警察報』の欠号を補うことが可能となった。今回公開された29号分を、全8巻として復刻し、あわせて新たに「解題」を付し刊行する。

内務省警保局 編

特秘 外事警察報

補巻 全8巻 別冊1

『外事警察報』創刊号（大正10年2月）表紙

●2000年9月刊

●体裁――A5判・上製本・総2、764頁

●内容――第1号（大正10年2月）～第8号・第10号～第23号・第38号 第53号～第56号・第195号・第202号（昭和14年5月）の29号

●別冊――「解題」（荻野富士夫）「総目次」「索引」（分売価1、000円＋税）

●定価――揃本体価格129、000円＋税

不二出版

◉『外事警察報　補巻』の「解題」(抄録)

解題　『外事警察報』補巻

荻野　富士夫

はじめに

内務省警保局刊行の『外事警察報』の大半は、石堂清倫氏の解説を付して、すでに一九八七〜八九年に不二出版から復刻刊行されている。その時点で確認された第二五五号(一九四四年七月)までのうち、第二四号(二四年六月)以降、二二三冊分が復刻され、原本未発見のために三二冊分が残されていた。このたび国立公文書館に移管・公開となった警察大学校旧蔵の資料中に、原本未発見のままだった『外事警察報』が二九冊分含まれていたため、一〇年ぶりに補充の復刻が可能となった。とくに、二一年四月の創刊時から第二三号までがほぼ揃っており、『外事警察報』発刊の意味が一段と鮮明となった。今回においても、原本未発見なのは、第九号、第二一二号、第二一五号の三冊分となる。第二五六号以降が刊行されたかどうかは、なお不明である。

『外事警察報』の体裁は、菊判で活版印刷、表紙には毛筆で「外事警察報」の題字と号数、そして右肩に「特秘」と付され、裏表紙には刊行年月と「警保局外事課」(第三一号から「内務省警保局」)の文字が印刷されている(題字を含め、このスタイルは第二五五号まで一貫している)。

警察大学校旧蔵のこの原本は、もともとは岡山県警察部に配布・管理されていたものと思われる。表紙に「知事」・「警察部長」のゴム印、閲覧済みの捺印などが各号に散見するほか、第一五号(二一年七月)には「高等課」の張紙が、第一九号(二一年一一月)以降には「岡山県警察部」の受付印が残っている。

一　『外事警察報』創刊の経緯

警保局「在留外国人概況」(一九二一年一二月、『特高警察関係資料集成』第一五巻所収)には、「外事警察上ノ参考ニ資スル為メ露支過激派事情内地在留外国人ノ動静及海外情報等ヲ摘録シテ外事警察報ヲ編纂シ関係方面ヘ配布スルコトトナリタル」とあり、その創刊が二一年四月(名目上の創刊は二月)とされている。創刊号をみると、二一年二月付の「緒言」として、「本書は各官庁の情報又は内外新聞記事等にして外事警察上参考と為るべきものを蒐集し材料の多寡に応じ月報又は隔月報と為し関係筋の参考に資せんとするものなり」とある。

このように『外事警察報』が発刊される背景には、いうまでもなく「露支過激派事情内地在留外国人ノ動静及海外情報等」に対する警戒の高まりがある。

いわゆる「冬の時代」下の国内社会運動の再興の予兆に先立ち、警保局では第一次世界大戦にともなうデモクラシー機運の醸成やロシア二月革命に関心を寄せはじめていた。一七年八月には、それらの海外思想によって「我国民思想ニ動揺ヲ来シタル」ことをあげて、保安課に外事係を設置するほか、警視庁など九府県の外事警察の拡充を図った(一七年中に兵庫県・大阪府は外事課を設置、一八年には警視庁・長崎県でも設置)。二〇年には警保局保安課から外事課(課長は保安課長が兼務)が独立し、さらに二一年には外事課長が専任となり、課員も増員された。一方、視察取締態勢の面でも、一七年末には「外国人視察内規」が制定されて在留外国人への視察が強化されるほか、一八年四月には「露国人ト労働者又ハ特別要視察人及朝鮮人トノ関係等ニ付注意方ノ件」という警保局長通牒が発せられている。二〇年には内務省だけでなく、司法省でも「過激思想」の流入を阻止するために「欧米諸国ノ立法例ノ調査」が開始された(以上についての詳細は、拙著『特高警察体制史』を参照されたい)。

『外事警察報』に直結する内務省の情報収集態勢の整備も急がれた。まず一九年三月、警保局長から外務省政務局長宛に、外務省が在外公館などから集めた「外国ニ於ケル過激派活動ノ状況」「当該国過激派ト露国過激派トノ関係」「我国ニ対スル宣伝運動ニ関スル情報」の送付を依頼している。また、各府県から警保局宛に送られる報告中、外事警察関係のものは外務省にも送付されるようになった。たとえば、一九年六月には、福岡県知事名で「過激派思想宣伝ニ対スル露国武官ノ談話ニ関スル件」が外務省文書のなかに綴り込まれている。

〈以下、省略〉

◎『外事警察報』第1号　目次

目　次

第一　西伯利亞政情……一頁
一　革命後極東共和國政府樹立に至る政情概觀……一
二　極東共和國政府の樹立竝其宣言……一〇
三　極東共和國憲法議會……一二
(イ)　憲法議會議員選擧規定……一三
(ロ)　憲法議會議員選擧結果……二五
四　憲法議會に對する輿論……二七
(イ)　憲法議會に對する共產黨の態度……二七
(ロ)　チタ勞働者の決議……二九
(ハ)　浦潮職業組合會(共產黨)の議員に對する命令決議……三〇
五　極東共和國政府の政策……三一
(イ)　通貨政策……三一
(ロ)　食糧政策……三四
(ハ)　財政整理方針……三六
六　各州地方政廳規定……三八
七　浦潮政情……四〇
(イ)　沿海州政廳制定案……四一
(ロ)　最終の浦潮國民議會……四二
(ハ)　浦潮諸官署の委讓……四四
(ニ)　沿海州政廳員の役割……四四
八　哈爾賓の政情……四六
九　最近一般情況……四七
(イ)　極東共和國政府の近狀……四七
(ロ)　極東新政府に對する在留露國人の感想……四八
(ハ)　經濟狀態……五四
(ニ)　農業狀態……五四
(ホ)　交通狀態……五四
(ヘ)　文化狀態……五五
(ト)　烏蘇里に於ける朝鮮人の勢力……五五
第二　西伯利亞に於ける過激派宣傳情況……六〇
一　對內宣傳……六〇
宣傳文例の一……六〇
二　對外宣傳……六五
宣傳文例の二……六五
三　對日宣傳……六七
宣傳文例の三……六七
四　過激派機關新聞雜誌……七〇
第三　在留露國人概況……七一
一　在留露國人數……七一
二　居住又は滯在の目的竝生活費の關係……七一
三　來往露國人數……七三
四　要視察及要注意露國人……七四
五　要注意露國人と我國社會主義者との關係……七五
六　露國人團體……七八
第四　支那に於ける過激派……八〇
一　概說……八〇
二　在上海過激主義者竝其の宣傳運動……八一
三　在上海過激派宣傳機關團體竝其活動……八二
四　在北京過激派の動靜……八三
五　支那各地の赤化……八四
第五　支那に於ける排日情況……八四
一　概說……八四
二　支那各地の排日實況……八五
三　排日的團體及其の行動……八六
四　排日運動と英米人の煽動……九二
第六　最近支那に於ける歐米諸國の活動……九五
一　昨年七月政變後に於ける歐米諸國對支活動……九五
二　在支英國商業會議所第二回聯合總會の情況……一〇〇
第七　在留支那學生の概況……一〇七
一　在留學生の思想及動靜……一〇七
二　支那動亂竝飢饉と學費關係……一〇八
三　留學生團體……一〇九
四　留日學生風紀……一一〇
五　一般留學生の對日感想……一一一
六　支那留學生と米國宣敎師との關係……一一一
七　留學生優遇に關する特設機關……一一二

内務省警保局 編（大正13年〜昭和19年刊）

外事警察報 全67巻・別冊1

別冊＝解説（石堂清倫）・総目次・索引
A5判・上製・函入・総42、000頁
揃本体価格990、000円＋税

戦前の日本帝国主義国家権力を維持するための諜報活動は、内務省警保局が担当し、国内に対しては特高警察が、国外に対しては外事警察がその任にあたり、在日外国人の行動だけでなく、海外における共産主義運動、主にソヴェト連邦及び中国における運動の情報蒐集につとめた。『外事警察報』は、これら蒐集した資料を整理し、極秘のうちに少数者に頒布した月刊誌である。これを年毎に集約し、概況を述べたものが『外事警察概況』であり、本誌の姉妹誌である。

●推薦＝石堂清倫・奥平康弘・故 尾崎秀樹・故 菊地昌典

内務省警保局 編（昭和10年〜昭和17年刊）

外事警察概況 全8巻

解題（石堂清倫）付き
A5判・上製・函入・総4、220頁
揃本体価格95、000円＋税

戦前日本の内務省警保局による諜報活動は、対ソ・中を中心に、『外事警察報』に掲載され、各年度毎に『外事警察概況』に集約・刊行された。外事警察関係の各種統計表約二五〇点を含んだ、近現代史研究必備の資料である。とくに第8巻（昭和17年）には、「ゾルゲ事件」についての詳細な資料を掲載し、戦前期の大日本帝国の対外情報活動を刻明に記録したものとして第一級の価値をもつ。

内務省警保局 編（昭和13年8月〜昭和19年9月刊）

外事月報 全11巻

解説（荻野富士夫）付き
A5判・上製・総4、500頁＋表多数
揃本体価格165、000円＋税

内務省警保局刊行の社会運動関係の定期刊行物のうち、月報形式のものは『特高月報』が有名で、すでに復刻版（昭和五〜一九年・政経出版社）が刊行されている。しかし、同誌は昭和一〇年一〇月に『特高外事月報』と改題し、また昭和一三年八月に『特高月報』と誌名をもどすが、同時に、『外事月報』を分離刊行する。弊社では、日本国内外の永年の調査により、昭和一九年九月分までの月報を収録した。十五年戦争中の外国人迫害問題等の基本資料。

●推薦＝石堂清倫・今井清一・木坂順一郎・茶園義男

内務省警保局 編（昭和10年〜昭和19年刊）

外事警察資料 全4巻

解説（荻野富士夫）付き
A5判・上製・総1、400頁
揃本体価格60、000円＋税

内務省警保局刊行の外事警察関係の定期刊行物は、『外事警察報』（月報）、『外事警察概況』（年報）、それに『外事月報』などがあり、弊社より復刻刊行されている。『外事警察資料』は、これらに対して、不定期刊行物で、第一輯（昭和一〇年一一月、「フリーメーソンリー」）から、第三〇輯（昭和一九年三月、「中国の命運」）までが確認されている。警保局外事課は、中ソの国際的共産主義運動のみならず、エスペラント運動や藍衣社の運動にも関心をもっていた。

●推薦＝石堂清倫・今井清一・木坂順一郎・茶園義男

『外事警察報　補巻』内容見本

第一、歐露過激派事情

一、第八回全露勞農會議に於けるレーニンの演説

三月十九日浦鹽發行のクラスノエ、ズミナーミヤに據れば、昨年十二月二十二日莫斯科開催の第八回全露勞農會議に於てレーニンは左の演説を爲したり。

(一)　利權割讓政策

吾人は利權割讓政策が實際的方面に於て、必ず效果あるべきことを期待す。此種の政策は、我が勞農共和國の基礎薄弱にして、疲弊せる現狀に於ては頗る危險なる政策なることは明なりと雖も、此種各契約には一定の協定の下に期限を附し、且愼重審議の結果になりし凡ゆる保證の下に置かれたるものなり。此考慮は未だ嘗てなき愼重を要するを以て、本代表會議に於ても審議し、更に將來之が爲に評議會を開かんとするものなり。此等臨時利權に關する契約は何等露西亞を賣却するの問題に關聯なく、要は只資本家に對し特種の經濟的好餌を投ぜんとするに外ならず。卽ち資本家に或る種經濟的讓步を爲し、以て吾人は速に必要なる機械機關車を獲得せんとするものなり。現在是等必要機械なくんば、吾人は生產界をして完全に且速に恢復すること絕對に不可能なるが爲なり。

(二)　產業復興と勞働强制に關する宣傳

…して產業戰に必勝を期する覺悟を喚起する事
…局を始め、ソヴェート政府各機關をして全力を
擧げ得たり。之れ全く吾人の農民及勞働者に對
要する宣傳は、勞働者及農民をして、若し今日
…るに非ずんば、到底產業的破綻より救ひ出し

(三)　工業復興と農產

吾人は是非共工業を興さゞるべからず。然し之が爲には、農產物の餘剩を必要とすること明かにして、之が給養保證せられずしては、工業の發達到底望み難し。吾人は目下各代理官廳をして、夫々我が工業建設の基礎は那邊に置くべきやの問題に就き調査せしめつゝあるを以て、近く有力なる材料を得て、根本政策を樹立し得べきを確信す。今吾人の有する我食糧品生產狀態に就て見るに

	穀類生產高
一九一五年八月	二億二千萬布度
一九一八年八月	五千萬布度
一九一九年八月	一億〇〇〇布度
一九二〇年八月	二億〇〇〇布度

←『外事警察報』第2号（大正10年5月）

●欠号について
左記の各号は、今回の「補巻」においても原本未発見のため収録しておりません。
9号、212号、215号、256号以降

外事警察報　補巻

全8巻・別冊1

ISBN4-8350-1243-7

◉復刻版概要

●主旨——警察大学校旧蔵資料の公開により、既刊『外事警察報』を補う。
●体裁——A5判・上製本・総2、764頁
●定価——揃本体価格129、000円+税
●内容——

第1巻	第1～4号	（大10年2月～7月）	ISBN4-8350-1244-5
第2巻	第5～8、10号	（大10年8月～12月、11年2月）	ISBN4-8350-1245-3
第3巻	第11～15号	（大11年3月～7月）	ISBN4-8350-1246-1
第4巻	第16～20号	（大11年8月～12月）	ISBN4-8350-1247-X
第5巻	第21～23、38号	（大12年2月～13年5月、14年8月）	ISBN4-8350-1248-8
第6巻	第53～54号	（大15年11月～12月）	ISBN4-8350-1249-6
第7巻	第55～56号	（昭2年1月～2月）	ISBN4-8350-1250-X
第8巻	第195、202号	（昭和13年10月、14年5月）	ISBN4-8350-1251-8
別　冊	『外事警察報　補巻　解題・総目次・索引』（これのみ分売可）		ISBN4-8350-1252-6

◉関連図書

外事警察報　解説・総目次・索引

●解説——石堂　清倫
●内容——第24号→第255号の総目次と索引
●体裁——A5判・上製・276頁
●定価——本体価格5、000円+税

外事警察報　補巻　解題・総目次・索引

●解題——荻野　富士夫（小樽商科大学教授）
●内容——〈補巻〉に収録の全号の目次と索引
●体裁——A5判・並製・52頁
●定価——本体価格1、000円+税

表示価格は、全て税別

不二出版
〒113-0023　東京都文京区向丘一－二－一二
TEL　〇三－三八一二－四四三三
FAX　〇三－三八一二－四四六四
振替　〇〇一六〇－二－九四〇八四